

歯科矯正講演会

# マウスピース矯正のポイント

理事 濱田 久（かほく市・歯科）

10月22日（日）に地場産業振興センターにおいて、「マウスピース矯正の注意点」と題して、歯科部主催のセミナーが開催された。講師は窪田正宏先生（くぼた 矯正歯科 医院院長）で、19人の参加者があった（以下、マウスピースのことをアライナーと呼ぶ）。患者さんの資料を採取し、作った処方書を提出して送られてきたコミュニケーションソフト「クリン



19人が参加し開催された（10月22日・地場産業振興センター）



講師の窪田正宏先生

チェック」の治療計画は、AIが作っているのではなく、日本では横浜に集められた約2000人の技工士さんたちによるもので、技工指示書と同じものであり、これを基にメキシコのオパチャンたちが実際にアライナーを作って送ってきてくれるのだが、その2〜3割近くに不良品のアライナーが存在するので、チェックが欠かせない。患者さんには1日20時間アライナーを装着してもらい、1〜2Wで新しい段階の

ものに交換となるのだが、使用中、使用後のアライナーの適合、変形、破損をチェックし、クリンチェック上と実際の口腔内を比較観察し、早い段階で問題点を見つけ対策を立てることが必要で、診療に加えてアライナー矯正の適応として、開咬や被害の浅い症例、臼歯の遠心移動（2mm程度）を伴うものがある。それに対して過蓋咬合の場合、インプラントでも打たなければ無理で、ブラケットを勧めるとのこと。分かりますし講演で、会場からの活発な質問にも丁寧に答えていただき、大変内容の濃い講演会となった。

## シリーズ 原発・いのち・みらい その82

# 今こそ知りたい エネルギー・温暖化政策

吉田 均（能美市・小児科）

## 電力の再エネ割合 最下位の日本

今年の夏は連日35℃を超える猛暑日となり、小松では40℃の酷暑日もありました。地球温暖化による熱波が頻りに到来？と思われる方もおられたのではないのでしょうか。そんな折の10月15日（日）に県地場産業振興センターで環境エネルギー政策が専門の東北大学教授の明日香壽川（あすかじゅせん）氏をお招きし、「今こそ知りたいエネルギー・温暖化政策」について語っていただきました。



50人が参加し開催された（10月15日・地場産業振興センター）

また、原子力発電所は基本的に炭素を排出しないが、事故リスク等がある上に、運転維持費用が膨大であり、電気代が高くなる要因となっている。経済合理性がない。もし原発にかかると進める原発推進の動きについては、原発利権や火力発電維持、核兵器転用技術の可能性を維持する狙いがある。結局、脱炭素は技術的、経済的な問題ではなく、政治が解決すべきことであり、電力システムの



講師の明日香壽川氏

「訪問診療ビギナーのための歯科在宅・訪問診療セミナー」延期のお知らせ  
11月26日（日）に開催を予定しておりました本講演会については、諸事情につき延期となりました。今後の開催日程については決まり次第、石川保険医新聞や石川県保険医協会ホームページにてご案内いたします。

経済合理性のない 原発  
また、原子力発電所は基本的に炭素を排出しないが、事故リスク等がある上に、運転維持費用が膨大であり、電気代が高くなる要因となっている。経済合理性がない。もし原発にかかると進める原発推進の動きについては、原発利権や火力発電維持、核兵器転用技術の可能性を維持する狙いがある。結局、脱炭素は技術的、経済的な問題ではなく、政治が解決すべきことであり、電力システムの

「福井・一乗谷城（朝倉氏遺跡）トレッキングツアー」中止のお知らせ  
11月5日（日）に開催を予定しておりましたトレッキングツアーは、連日のクマ出没状況等を受けて、中止とすることとしました。今後も会員やご家族に楽しんでいただける文化企画を検討いたしますので、ぜひ皆さまご参加ください。